

みなしご通信



ずさんで最悪 ふれあい動物園

去年の夏ごろかな？複数の方から「この猛暑の中、涼む場所もない遊園地内にあるふれあい動物園の動物たちを助けてください！」という悲痛な叫びが届くようになりまし。動物園からのレスキューは私の活動範囲ではないし予定は半年先まで決まってるし、ようやく私の手が空いた11月どんなものかまずはその遊園地に行ってみました。そしてたらビックリポン！最悪な環境でした！

演奏者とダンサーたちが出てきてリオのカーニバルを踊り始めます。その時間はそれまで以上にうるさ過ぎて会話などまったくできません！ステージから出て移動しながらのカーニバルなわけでこれには私も驚きました。こんな場所に動物園があつて良いわけがない！これはもう閉園してもらうしか道はない！

よくもまあこんな場所に動物を置くし考えたよね？そして動物を置くことを保健所がなんで許可したの？ここからは私が見たまま感じたままを書きますね。写真にはふれあい動物園内のウサギです。1羽は元氣そうでしたがもう1羽は目ヤニで目は開いていないしお尻は下痢便がこびりついていました。ウサギがこんな状態になるのはお世話の問題ではなく環境のせいです！飼育員さんの話だときどき発作が起きるのだそう。まあこんなうるさい場所にいたんじや起きるじやろう生きてるのが不思議なレベルじやしね！



怪しげなビニールハウスには爬虫類がいました。イグアナです。大きさの比較対象物として私の手を置いています。11月でしたからビニールハウス内はイグアナの最適温度27℃には到底届いてもいませんでした。そんな寒いところで人間に触れたいとも甘えたいとも思わない爬虫類を「触れますよーッ」って置いておくのってどう？しかも私がここにいたとき二人連れの若い姉ちゃんがイグアナを見て「キモッ！」と言ったのです。私はキモいのはお前じやー！と思いました。こんな言葉を投げかけられてたんじやー爬虫類のイグアナにもイヤな空気が響いて健康面で悪い影響が出ると思います私は！



なぜかあちこちに狭い柵があつて中には鳥骨鶏が数羽ずついました。私の目の前で3歳ぐらいの小さな子どもが鳥骨鶏の首を持ち上げてストンと地面に投げ落とししました。その子の親らしき大人が「ダメだよーッ」と言いました。なにがどうしてダメなのか説明もせず。はあ？そばにいた私は思いました。今すぐ同じことをしちゃろーか？

屋根もないところにミニ豚だという兄弟が2頭おりました。雨が降ったら豚の居場所がドロドロになるから保健所から改善しろと言われたとかで下場をコンクリート仕上げにするらしくあきらかに左官業者ではない素人さんが非常に慣れない手つきでセメントをこねたり流し入れたりしていました。ブルーシートじゃ雨風も防げんわけじゃから最低でも屋根を作る方が先じゃない？と思いました。

当時すでに豚たちの栄養状態は悪く、今年3月の始めに体の大きなお兄ちゃん豚が亡くなりすぐに後を追うように小さな弟豚くんも

亡くなったんだそう。遊園地運営会社からは「保健所の指導通りの改善をしますから！」と取り合ってももらえずでした。

遊園地運営会社の偉い人との話し合いの中で私が聞いた範囲では会社側は今現在いる動物たちがいつどこから来たか等まったく把握していないし、今までこの動物たちが病気になっても特に獣医師に診てもらったこともなく近くの動物園の人に相談したことがある程度だとか。これまでこの動物園にいたロバやサルや豚の死因はサッパリわからないんだそう。これが保健所的にはOKなの？

飼育員さんに聞いた話だと山羊の死因はフィラリアですって。山羊のフィラリアアツて腰麻痺ですけどそれは毎日の投薬で治せるし※私は福島で治しました…私もその犬と同じで予防しなきゃ！ですよ！そして私が訪問した去年11月の時点ですでに亡くなっていた小さな動物たちはもっとひど



い扱いだったそう。

以上のようにこの動物園は騒音問題だけでなくこのようにズサンで最低な管理をしていました。なのによくもまあ保健所はふれあい動物園としての許可を出し何年も何年も営業をさせていたよね？伝染性の高い豚熱の予防対策も何もしてなかったし、鳥骨鶏だったとかさんいるのに鳥インフルエンザの予防対策も何もしてない。これってどう？ものすごく恐ろしいことですよ！日本中の豚舎や鶏舎でウイルスが出たとかでその豚や鶏が無益に殺されているってゆゝのになぜかこの動物園に対してはウイル

ス対策について指導すらしていないって保健所自体がブラックすぎるじやろ！

もちろん私も保健所とも何度も話をしましたが「指導します」の名ゼリフ一択。今回のふれあい動物園で起きていた悲劇はすべて自分の職務もまっとうせず経済界に対してビビッてなあってにしてきた保健所の責任ですよ！

日本中の保健所及び動物愛護センターの職員に告ぐ！世の中は経済で回っていません。そんなことはバカな私でも知つとります！だからと言って経済界に対してまったく頭が上がらん行政機関ってどう？営利を目的として動物を取り扱う繁殖屋だ！ペットショップだ！こういういた動物園だ！みたいな動物取扱業第一種に対して保健所及び動物愛護センターは常に弱腰で非常にナマぬるいのが現実じゃん！動物の命と動物の生活の安全をわれわれ民たちに教えなきゃならない立場の職員が動物を食いもんにとる動物取扱業第一種のヤツらにペコペコしてバカなの？

数年前には【動物の愛護と管理に関する法律】も少しは厳しくなったわけじゃからそれに合わない営業をしている悪質な業者に対しては厳しく細かな指導をし、改善しないならまずは営業停止にしてそれでも改善しないなら動物取扱業第一種の許可を取り上げ動物を取り扱う世界からオサラバさせるとか【動物の愛護と管理の法律】にのっとった正しいやり方がいくらでもあるじやろ？

相当長い年月、遊園地内にあったふれあい動物園では不幸なことが続いていたが、4月7日に閉園となり、4月17日午前9時30分、そこにいた生き物たちを犬猫みなしご救援隊が安全に移動させたのち、ちゃんと育てる手はずを整えた上で一匹残らず全員引き取りました。

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。



犬猫みなしご救援隊

〒731-0234

広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2

TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。

YAHOO! JAPAN ネット募金

つながる募金

▲ネットやスマホで当団体に募金できます